



夢に向かって



合志市立合志南小学校
学校だより 第4号
令和5年 6月 6日
文責 校長 土井昭子

学校教育目標 【郷土に誇りを持ち、未来を拓く心豊かな子どもの育成】

～認め合い・学び合い・励まし合うことができる子どもいっぱい为学校をめざして～



運動会 思いっきり走った 踊った バトンを渡した



晴天のもと、たくさんの保護者・来賓の方々の声援を受け、子どもたちは思いっきり力を出し切ることができました。最後まで走りぬく姿やリズムに合わせて踊る姿、バトンをたくし精一杯応援する姿…。一生懸命な子どもたちに感動しました。このような姿を見せることができたのも、練習をがんばったからです。うまくいかないとき、しっかりと踏ん張り、乗り越えていました。そこには、友だちの励ましやご家庭でのサポートがありました。本当にありがとうございました。子どもたち一人ひとりが、運動会という山を乗り越え、成長を遂げました。保護者の皆様には、準備から片付けまでお手伝いいただき、心からお礼申し上げます。これからも輝きを見せる子どもたちです。どうぞ、応援をよろしくお願いします。

合志南小 人権旬間(前期) 6月12日(月)～6月30日(金)

学校では、人権教育を基盤として日々の教育活動を行っています。年間2回(前期と後期)人権旬間を設け、全学年で人権学習を行います。自分のことをじっくり見つめるよい機会です。そして、互いに学んだことを交流します。

さて、「人権って何？」と子どもから聞かれたら、何と答えられますか？

調べてみると…「人が人として、社会の中で、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利」や「人が生まれながらにして持っており、誰からも侵されない権利」、「自分らしく生きる権利」等…。子どもたちには少し難しいかもしれませんが、ぜひ、みなさんの言葉で分かりやすくお話ししていただければと思います。

社会には、さまざまな人権問題(課題)があります。部落差別、水俣病をめぐる人権、ハンセン病回復者の人権、インターネットによる人権侵害…。これらは決して自分には関係ないということではありません。自分だったらどうするか。人権が大切にされる世の中にするにはどうしたらいいか。社会に生きる一人として、学習を積み重ねていこうと思っています。ご家庭でも、「自由」や「幸福」、「権利」や「自分らしく生きる」などについて、話題にしてみられてはいかがでしょうか。